

～教科大好きプロジェクト「第3回外国語活動・英語実践講座」～

外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るために、小中連携の視点から外国語活動・英語授業の改善点を学び、教員の指導力及び児童生徒の学力向上を目指すことを目的とした「第3回外国語活動・英語実践講座」を2月23日（月）に開催しました。管内小・中学校から29名の先生方が参加し、講演や演習等で交流を深めるとともに、授業の工夫改善や今後の連携について考える機会となりました。



講演「コミュニケーション能力育成のための外国語活動 ～英語における効果的な小中連携の取組～」

京都教育大学 泉 恵美子 教授

グローバル人材育成に向けた小・中学校それぞれの英語教育の動向や小中連携の効果的な取組についてお話しいただきました。その中のポイントを少し紹介します。

小学校

- ・外国語指導研修を学校全体で進めていく必要性
- ・バックワードデザインによる授業計画

中学校

- ・「Why?」等の深い考えを必要とする発問
- ・実際に活用できる指導の工夫
- ・小学校の指導を活かした1年生1学期の丁寧な指導

先生方から「今後の外国語活動・英語教育の向上に向けてより一層自己研鑽に励まねばならないと感じた。」という力強い言葉が多く聞かれました。

演習「タスクを活用した英語活動～英語使用場面を創り出す～」

「学んだ知識をどのようにして実践的な英語活動につなげるか」について次のような視点で考えました。

- ・インプット活動を実践的なアウトプット活動へ発展させる
- ・タスク活動を用いて目的達成のために英語を使用する

「体験を通じて身近にあるものを工夫すれば効果的なアウトプット活動になり得ることを学びました。」（感想より）

今年度3回の研修を通じて小中連携の充実に努めてきました。多くの先生方から「小中教員で集まり研修する機会があってよかった。」という感想があったことは成果の一つです。また、教科書の内容や指導方法の交流、授業参観等の活性化も見られました。今後も中学校ブロックを中心とした外国語活動・英語授業の積極的な交流が図れるようにしていきたいと考えています。

